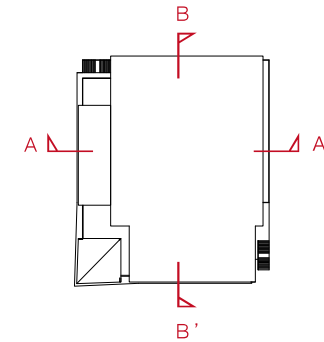


### 3-11 断面計画

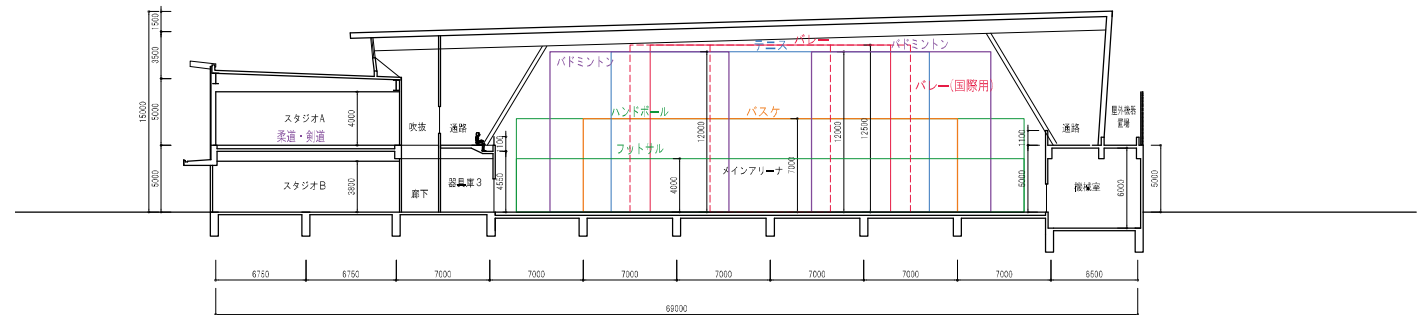
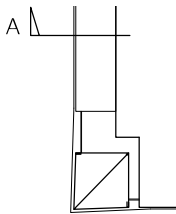
#### 1. 断面計画の考え方

- ・高さが最大 12.5m 必要な競技を行うメインアリーナと多目的ホールをまとめ、その他の部分は競技必要高さが最大 4m のため、2 層構成としてそれぞれを平面的に分けることで、できるだけ階高を抑える構成としています。
- ・メインアリーナの 2 階部分には最大 5 段の段床式観客席を設けます。2 階レベルから下に降りる観覧席となっているため、より競技者に近い部分で競技を観戦することが出来ます。観客席の下部には器具庫や事務室等の高さをあまり必要としない諸室を配置しスペースを有効に使用できます。
- ・東西に通る廊下の上部は吹抜けとし、更にその上部からハイサイドライトで北側の均質な採光を取り入れ、下階まで明るい共用部を実現します。
- ・交流スペースは 2 層吹き抜けとすることで 1 階からトレーニング室の様子が見えるなど、1・2 階間で見通しがきき開放感のある空間構成とします。



#### 2. 競技必要高さ

競技	必要高さ
バレーボール（国内）	7m、12.5m
バレーボール（国際）	12.5m（コート余白部分含む）
テニス	12m
バドミントン	12m
バスケットボール	7m
ハンドボール	7m
フットサル	4m
卓球	4m
スポンジテニス	規定なし
剣道	4m



A-A' 断面

